



SPIRAL
REPORT
2013
スパイラルレポート

未来の
環境を考え、
ともに育てる……



ありがとう そして みらいへ

～コープしが創立20周年～

日頃より、コープしがの事業と活動を支えていただき誠にありがとうございます。

コープしがは、1993年3月21日、滋賀県内4つの生協が合併し、滋賀県民の豊かなくらしと人間尊重の平和な街づくりをすすめることができる生活協同組合として、74,900人の組合員で発足し、20周年を迎えました。

くらしの中から生まれた願いを実現させるために、生協の事業が生まれ、発展してきました。私たちだけではできないことは、地域の方々と協同して実現してきました。地域の状況や、組合員の願いを受け止め、応え続けることに、私たち自身の存在意義があります。

現在15万人、組織率27%に到達しています。組合員の想いと願いを集めて、無店舗事業をさらに進化発展させ、新たに店舗事業と福祉事業にチャレンジしていきます。

2012年、長浜市中之郷生産森林組合と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、コープの森余呉が誕生しました。森林の持つ多面的機能を理解し、琵琶湖の水を供給する大もとである森林の大切さを、役職員・組合員とともに学び、森林整備の活動を続けていきます。

今後ともよろしく願い申し上げます。

2013年6月 生活協同組合コープしが 理事長

西山 実

CONTENTS

- 3 環境活動
- 11 食の安全・安心・品質保証
- 13 地産地消
- 15 組合員活動
- 17 福祉・社会貢献
- 19 組合員とともにあゆむコープしが
- 21 ガバナンス体制と組合員の声
- 23 職場づくり
- 25 無店舗事業、店舗事業、共済事業
- 27 サービス事業・コープしがの概要
- 29 事業所紹介とコープしがのあゆみ



コープの森づくりが始まりました

2012年8月にコープしがは中之郷生産森林組合(長浜市余呉町)とびわ湖森林づくりパートナー協定を締結し、コープの森づくりを開始しました。コープの森づくりは、琵琶湖の水源である滋賀県の森林を健康な状態に保つことを目的とした取り組みです。第1号である「コープの森余呉」では、今後7年間にわたり、森林整備のための資金の支援、また森林整備活動へのボランティアなどの人的な支援を行っていきます。



コープの森余呉 案内板除幕式(2012年10月27日)

コープの森余呉 開設の経過

2012年3月に「2020年に向けた新たな環境政策」でコープの森づくりに取り組むことを理事会で確認しました。これを受け、滋賀県の担当部局とも相談しながら、コープの森の候補地を長浜市余呉町の中之郷生産森林組合の経営林に内定しました。中之郷生産森林組合との協議には滋賀県と長浜市にも加わっていただき、森林の整備方法や必要期間、必要経費等を具体的に協議し、7年間かけて経営林全体を整備するという内容で協議がまとまり、2012年8月29日に嘉田滋賀県知事と藤井長浜市長の立ち会いの下、協定を締結しました。



協定書調印式(2012年8月29日)

森林の持つ機能と整備の必要性

コープの森づくりとは

滋賀県の面積に占める琵琶湖の割合は6分の1ですが、実は森林の面積は2分の1になっています。これらの森林が琵琶湖の水を育み、温暖化防止にも大きな効果を発揮しています。しかし、森林を中心とする社会システムが崩壊し、多くの森林が手入れ不足となり、森林の持つ様々な機能が失われつつあります。わたしたちは、森林を所有する方々と手を結び、森林の保全活動に協力する

とともに、交流を通して互いの成長をめざします。多くの組合員が森林に触れる機会を創出し、「コープの森」を地域の産業や文化との交流拠点、新たな事業の拠点へと発展させたいと考えています。また、滋賀県の森林は琵琶湖の大切な水源でもあり、多くの生協にも「コープの森」の情報を発信していきます。

(「2020年に向けた新たな環境政策」より抜粋)

コープしがは、コープの森づくりを通して次のようなことを目指します。

1. 琵琶湖をはじめとする自然環境の保全に積極的に寄与し、コープしがの持つ社会的責任を果たします。
2. 森林の整備活動や支援を通して、森林所有者や地元の人々との信頼関係を築き、広範なパートナーシップに発展させていきます。
3. 琵琶湖は下流域に住む人々にとっても貴重な水源であり、淀川流域の生協との環境保全に関する交流にも取り組んでいきます。



第1回 森林整備ボランティア(2012年10月27日)



環境マネジメントシステム (EMS) の取り組み

環境問題への取り組み

コープしがは、1995年に環境マネジメントの自主管理をスタートさせ、1999年にISO14001の認証を取得しました。環境問題は、生協運動の根源的な課題と位置付け、毎年、環境負荷を減らす活動と環境問題に貢献する活動に取り組んでいます。

コープしが環境方針

理念

コープしがは、「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、持続可能な社会を実現する」という21世紀の生協の理念に基づいて、環境問題を生協運動の根源的な課題として位置付け、率先して取り組みを進めます。さらに、琵琶湖を擁する滋賀の生協として、「近畿の水がめ」「大切な水源」を守るため、琵琶湖を保全する活動に積極的に取り組みます。



方針

1. 環境に関連する法規制、及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 事業活動を通じて、環境に配慮した商品の提供、エネルギー資源の効率的な使用と温室効果ガスの削減、環境に配慮した事務用品の使用、廃棄物の削減・リサイクルに取り組みます。
3. 県内の森林整備に貢献するため、コープの森づくりを推進します。また、滋賀県の豊かな自然を保全するための環境活動を推進します。
4. 「環境政策」の実現に向けた環境目的・目標を定め、目標達成のための施策を明確にして実践します。なお、この環境方針と目的・目標は年一回見直します。
5. 全役職員がコープしがの環境に対する理念や政策を認識し、環境方針に沿った行動を実践するよう、教育を徹底します。

環境マネジメントシステムの継続的改善

1. 事業活動に伴う環境負荷の低減と自然環境の保全に有効な諸活動を推進できる環境マネジメントシステムを構築し、システムの見直しと改善を計画的、組織的、継続的に進め、システムの完成度を高めます。
2. 環境マネジメントシステム適用の範囲外である子会社、関連会社、コープきんき事業連合、業務委託会社などとの連携を強め、環境マネジメントシステムの有効性をさらに高めます。

この環境方針は内外に公開するとともに、環境活動の取り組み状況を定期的に公表します。

2012年3月23日 生活協同組合コープしが
理事長 西山 実

2012年度の環境活動の報告

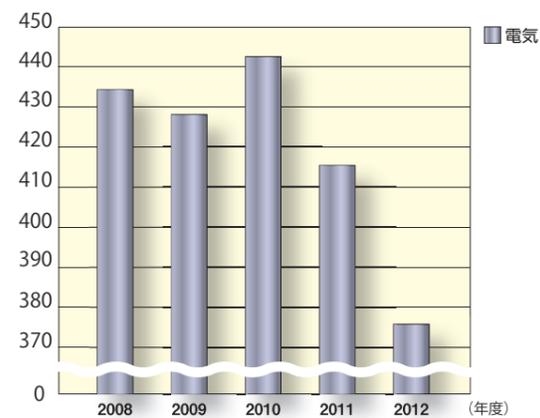
法規制・EMSの順守

1. 環境に関連する法規制等は全て登録表に整理し、年3回点検をしています。
2. 法規制等の変更については、変更の有無・変更内容を毎月点検しています。
3. 環境マネジメントシステム (EMS) の順守状況は、毎年環境内部監査で点検しています。
4. 2012年度は6月にISO認証機関のサーベイランス審査を受けています。

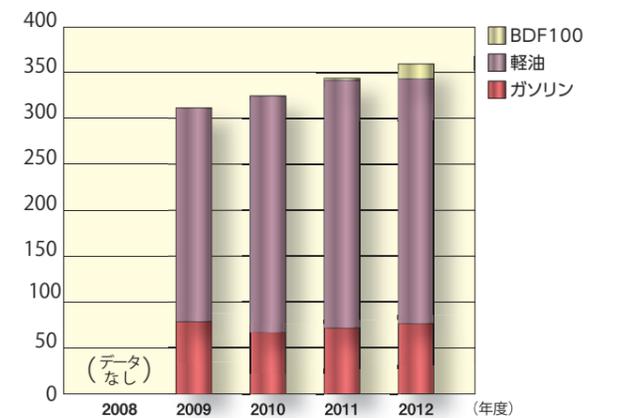
エネルギー資源の効率使用、廃棄物の削減・リサイクルの推進

1. エネルギー資源の効率使用では、電気使用量と自動車燃料使用量の削減に取り組みました。電気使用量は前年から9.6%削減することができました。自動車燃料の使用量では、配達用ディーゼル車にBDF (バイオディーゼル燃料) を積極的に導入しましたが、ガソリン車の増加や大型トラックを新規導入したことにより前年実績を上回る結果となりました。
※BDF (バイオディーゼル燃料) は植物由来の燃料で、軽油に5%添加 (BDF5) したり、軽油代替燃料 (BDF100) として使用しています。BDFには二酸化炭素排出削減効果 (カーボンニュートラル) があります。

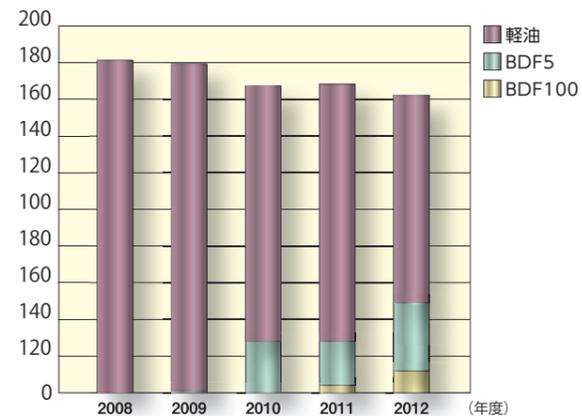
①電気使用量の推移 (万 Kwh)



②自動車燃料の使用量の推移 (kl)



③配達車両の台数 (使用燃料区分) の推移 (台)

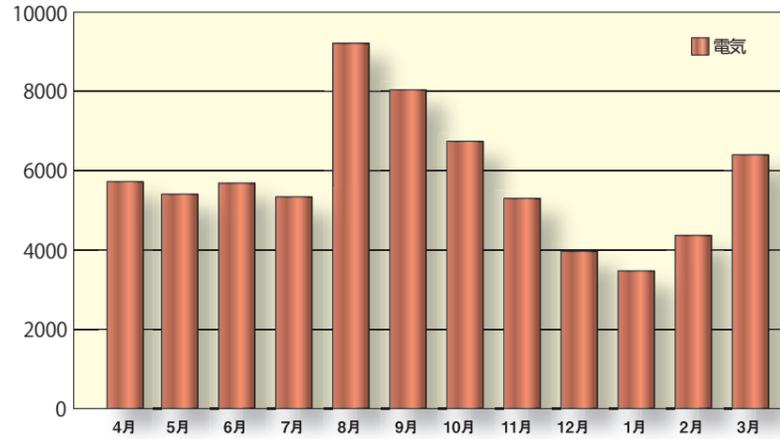


2012年度 導入した省エネ車輛





④太陽光発電の発電量 (kwh)



2011年度に引き続き、甲南センターと彦根センターに自家消費タイプ(10kw)の太陽光発電システムを8月に導入しました。コープしがの今年度の発電実績は69,667kwh、これは一般家庭年間約20世帯分にあたります。

2. 廃棄物の削減では、一般廃棄物に含まれる食品廃棄物を再資源化(飼料化)しましたが、店舗での排出量が増え焼却処分する量は前年から3.1%増加しました。また食品リサイクル法が定める食品廃棄物の45%以上の再資源化は、今年度97.0%まで高めることができました。

一方、産業廃棄物として排出していた廃プラスチックを減容加工して有価物としたことにより産業廃棄物の量は前年から18.3%削減することができました。

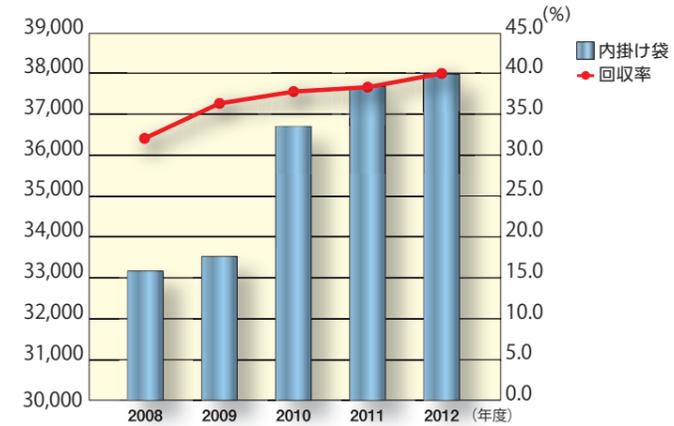


彦根センター 太陽光パネル(屋根)



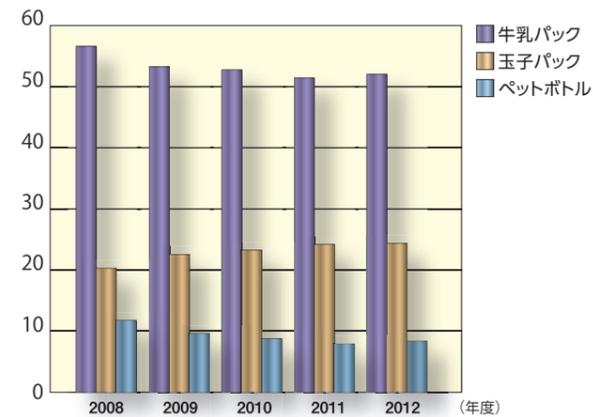
甲南センター太陽光パネル

⑦内掛け袋の回収量・回収率の推移 (kg)

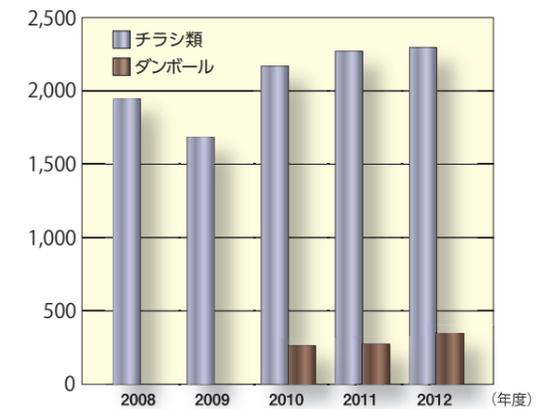


3. リサイクルの推進では、昨年MC瀬田店が閉店した影響から店舗での回収量は前年実績を下回りましたが、全体では前年の実績を維持することができました。リサイクルセンターの運営資金である有価物販売高は、前年実績から大きく伸長し、3,600万円を超えました。古紙類ではダンボールの販売量が増え、廃プラ類では発泡スチロールの販売量が大きく伸長しました。

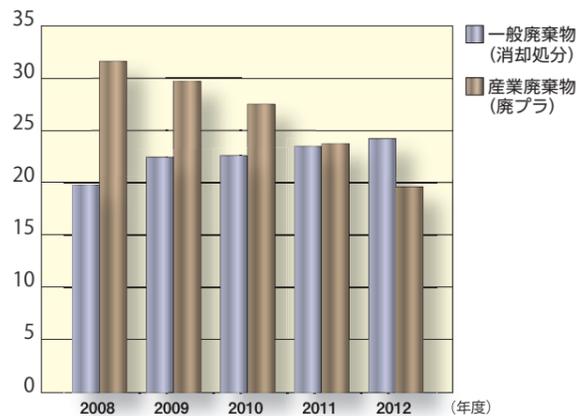
⑧リサイクル品回収量の推移 (t)



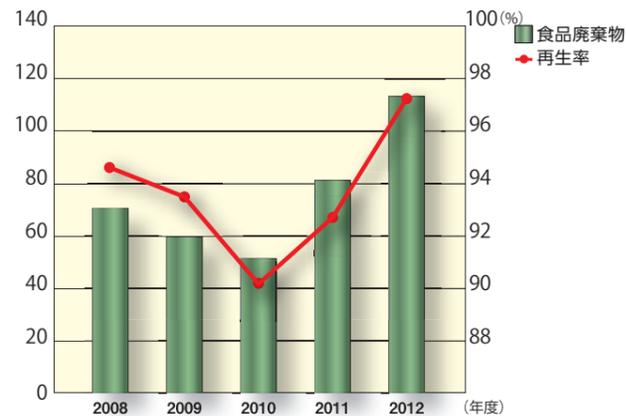
⑨古紙類の販売量の推移 (t)



⑤一般廃棄物・産業廃棄物(廃プラ) 排出量の推移削減 (t)



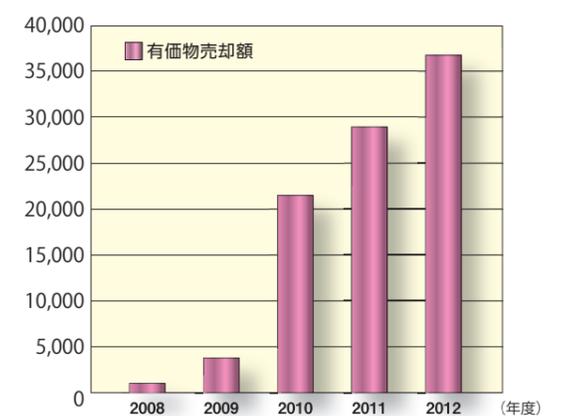
⑥食品廃棄物の排出量と再資源化率 (t)



⑩廃プラスチック有価物の販売量の推移 (kg)



⑪有価物販売高の推移 (千円)





組合員の環境活動の推進

2010年から取り組みを始めた「コープしがびわ湖の日」は3年目を迎え、大きく前進しました。今年度は、メイン会場の長浜では350名規模の清掃ウォークを開催しました。生協の組合員以外にも企業や一般の参加もありました。またメイン会場の他にも県内各地でさまざまな取り組みが同日に行なわれました。

2012年コープしがびわ湖の日の活動

◆第3回びわ湖清掃ウォーク



◆沖島に行こう!



◆沖島



◆ニゴロブナ稚魚放流



◆清掃活動



◆稚魚放流



◆宮ヶ浜清掃 地引き網体験



コープしがびわ湖の日以外にも工夫を凝らしたさまざまな取り組みが広がりました。



◆湖魚の料理教室



◆ヨシ刈り



◆西の湖探検



◆コープの森の事前研修

役職員への教育

1. 年度当初に全部署で環境方針やその年の環境マネジメントプログラム等の学習会を開催します。11月には職員一人一人の実践状況を点検します。
2. 教育記録を管理し、中途の採用者や異動者への教育漏れを防いでいます。

2012年度の環境マネジメントプログラムの結果報告

1. 環境政策に定めている3カ年アクションプランにそって作成した2012年度環境マネジメントプログラムは、24の課題の内18の課題を達成することができました。
2. 2013年度環境マネジメントプログラムは20の課題を設定しています。

番号	到達目標 (数値目標)	2012年度の到達	評価	2013年度目標
1	県内商品の取り扱いを増やし、1年間の企画アイテム数を10%伸張させます。	前年度から15.3%伸長し、年間で1813アイテム企画することができました。	○	県内商品の取り扱いを増やし、1年間の企画アイテム数を5%伸張させます。
2	県内産米の普及に取り組み前年利用実績を維持します。	前年実績から2.8%伸長しました。	○	コープぜぜでの県内産野菜 (JAおうみ富士) の取扱を強化し、仕入れ高を前年実績から2%伸張させます。
3	県内畜産物 (牛、豚、鶏) の普及に取り組み精肉供給高を3%伸張させます。	前年実績を維持するに留まりました。	×	具体的な目標をコープきんぎと協議し、下期にプログラムを設定します。
4	環境に配慮した商品の取り扱いに関してコープきんぎとの協議を開始し、方向性を定めます。	コープきんぎとの協議を行いました。環境に配慮した商品の取り扱いについての考え方は整理できませんでした。	×	電気の使用量を前年実績から16.5%以上削減します。
5	電気の使用量を前年実績から4.3%削減します。	前年実績から9.6%削減し、使用量は376kwhになりました。	○	電気の使用量を前年実績から16.5%以上削減します。
6	電気使用量の削減に向け、長浜センターと甲南センターでの省エネ設備導入を進めます。	2012年7月に省エネタイプの空調機器と照明機器を導入しました。	○	固定価格買取制度による太陽光発電システムを3事業所に導入します。
7	太陽光発電設備 (20kw) を導入します。	彦根センターに10kw、甲南センターに10kwの計20kwの太陽光発電を導入しました。	○	エコドライブを推進し、配達車両の燃費を前年実績から3%改善します。
8	エコドライブを推進し、上期に配達車両の燃費を測定し、下期には10%改善をめざします。(燃費の具体的な目標は、上期実績を基にして下期に策定)	コープしがの全車両の燃費を測定することはできましたが、燃費改善は進みませんでした。配達車両の下期の平均燃費は6.49km/ℓでした。	×	エコドライブを推進し、配達車両の燃費を前年実績から3%改善します。
9	BDF5を導入する事業所数を増やすとともに、BDF100の導入及び新長期対策車での使用テストに取り組みます。	BDF導入事業所は3事業所 (愛知川、彦根、長浜) になりました。BDF100使用車は8台増え計12台になりましたが、新長期対策車でのテストはできませんでした。	×	グリーン購入対象事務用紙の使用率を100%にします。
10	古紙/パルプを70%以上含む事務用紙の使用率を90%以上にします。	2012年度の使用率は98.0%になりました。	○	事務用品のグリーン購入比率を50%に高めます。
11	事務用品のグリーン購入比率を50%に高めます。	2012年度の購入比率 (点数比) は46.6%になりました。	×	焼却する一般廃棄物の排出量を前年から17.5%以上削減します。
12	焼却処分する事業系一般廃棄物の排出量を前年から10.8%削減します。	前年実績を3.1%超過し、排出量は24.2トンになりました。	×	産業廃棄物 (廃プラ) の有価物化を進め、排出量を3%削減します。
13	産業廃棄物 (廃プラ) の有価物化を進め、排出量を6%削減します。	前年度から18.3%削減することができ、排出量は19.6トンになりました。	○	商品の配達時に使用する内掛け袋 (PE) の回収率を40%に高めます。
14	商品配達時に使用する内掛け袋 (PE) の回収率を40%に高めます。	前年度から2%改善し、回収率は40.3%になりました。	○	組合員からのチラシ等の回収を強化し、チラシ等の販売量を20%伸張させます。
15	チラシ等の回収活動を強化し、リサイクルする古紙の総量を5%伸張させます。	リサイクル物として古紙問屋に販売する古紙の量は、前年から17.2%増やすことができ、総販売量は2581トンになりました。	○	コープの森の第2号を開設します。
16	コープの森の第1号を開設します。	2012年10月にコープの森第1号「コープの森余呉」を開設しました。(長浜市余呉町中之郷)	○	コープの森の森余呉では年2回整備活動に取り組みます。また、コープの森第2号では第1回の整備活動に取り組みます。
17	コープの森の整備活動に、多くの参加者で取り組みます。	2012年10月20日に森林整備ボランティアに取り組みました。(参加者54名)	○	森林の果たす役割と森林整備の大切さを学ぶ学習会を県内各地で開催します。
18	森林を整備する大切さを学ぶ機会を年2回以上設けます。	長浜市余呉町で滋賀県の講師を迎え、2回学習会を開催しました。	○	再生可能エネルギーを普及するための学習会や情報提供を推進します。
19	環境政策に関する組合員の学習会を50回以上開催します。	コープ倶楽部、エリア協議会、及び地域委員会で環境政策に関する学習会を開催しました。開催した会場数は50以上になりました。	○	多様な組合員活動を推進し、のべ450名以上の参加をめざします。
20	多様な組合員活動を推進し、のべ400名以上の参加をめざします。	びわ湖の日の取組、森林整備ボランティア、ヨシ刈りなどの活動に600名以上の参加がありました。	○	組合員の環境活動を組織内外に積極的に広報します。
21	組合員の環境活動を組織内外に積極的に広報します。	スパイラル (広報誌) に年間5回特集を組み、環境活動を広報しました。	○	環境白書づくりの準備を進めます。
22	環境白書づくりの準備を進めます。	2012年版はCSR報告書の増ページとして発行します。	○	グループ企業や業務委託会社等と協議し、2020年に向けた具体的な温暖化効果ガス削減計画を作成します。
23	グループ会議での交流・情報交換を進める。	グループ会議で議論するとともに、四半期ごとに実績報告しました。	○	グループ企業や業務委託会社等のエネルギー消費量を把握し、コープしがの事業における温暖化効果ガス排出量を定期的に算出します。
24	コープしがの事業における温暖化効果ガス排出量を定期的に算出します。	コープしが、子会社、委託会社の排出量を月度単位で計量・記録しました。	○	



取り扱う商品すべての安全・安心を最重点として 品質保証に努めています

1. 商品事業の姿勢として「正直・誠実」に、商品の「安全(品質保証)」に取り組むことで、組合員の評価としての「安心」を大切にします。
2. 食品の生産から、流通、消費に至る流れ(フードチェーン)全体で安全性の確保に取り組みます。

コープの品質保証

コープしがで取り扱う商品について、商品仕様書の点検や商品検査、店舗調理加工施設の衛生点検、売り場のチェックなど組合員に安心して利用いただくための検証を行っています。

商品仕様書

商品を企画する前に、原材料、食品添加物、製造工程、包材表示などが細かく記載された商品仕様書を取引先に提出いただき、一つひとつ基準に合っているか確認を行っています。

食品添加物においては、管理添加物(不用品目)はすべての取り扱い商品で使用しません。管理添加物(留意使用品目)、保留添加物は有用性・必要性・代替性を考慮し、必要最小限の使用とし、組織機関会議へ使用報告手続きを行っています。



バックヤード・売場チェック

店舗施設衛生点検

コープざげ店の農産、水産、畜産、総菜、ベーカリー部門インスタ加工場の衛生状態や作業状況を確認し、改善を行っています。その他に売り場ショーケースの品温管理や店内の表示内容に問題がないかを日常的に点検を行っています。



商品検査

コープしがでは、主に無店舗部門で独自に取り扱う前の新規商品検査、無店舗・店舗で供給している商品の流通品検査、店舗インスタ加工品などの検査を行い、商品の品質・衛生状態、商品取扱い基準に適合しているかの確認を行っています。

その他、コープきんき7生協による共同取扱い商品の検査はコープきんき商品検査センター「コープ・ラボ」で加工食品の微生物検査や野菜・果物・冷凍野菜などの残留農薬検査、放射性物質検査などを行っています。



放射性物質検査機器(コープ・ラボ)

	検査項目		件数	
			コープしが	コープきんき
新規検査	微生物		64	7,735
	食品添加物	無店舗の水産、畜産、日配、パン菓子など	-	903
	アレルゲン		-	5
流通品検査	微生物	水産、畜産、日配、パン菓子など	503	7,608
		夕食サポート弁当	216	-
	残留農薬	冷凍野菜(輸入含む)	-	41
事前検査他	残留農薬	産直野菜・果物	93	1,190
	動物用医薬品	産直牛・豚・鶏・鶏卵・牛乳	22	-
	遺伝子組換え	NonGMO表示商品飼料	5	-
	カドミウム	県産豆腐原料大豆・県産米	12	-
	放射性物質	県産米	9	405

取引先点検

コープしがで独自に取り扱う商品の食品工場、産直農畜産産地・農家の点検や商品事故の防止など、安全・安心のため常に厳しい管理を行っています。

取引先	件数
水産・畜産加工メーカー	16
日配・牛乳メーカー	15
パン・菓子その他食品メーカー	26
一般食品メーカー	10
産直農畜産産地・農家	31
産直畜産農家	25



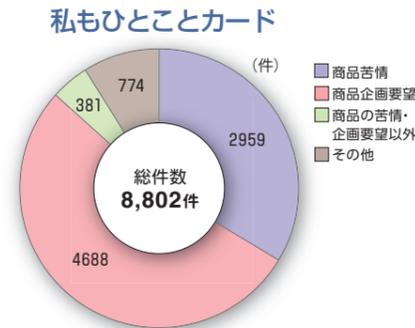
コープ・ラボ 見学者学習スペース



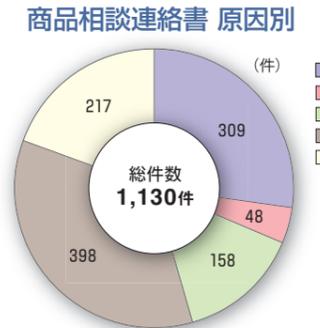
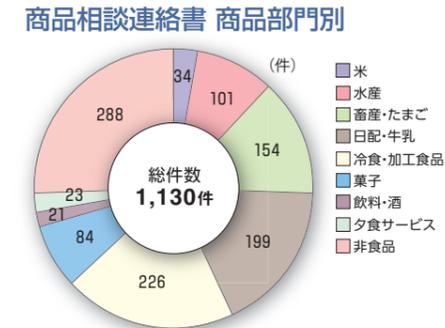
取引先工場の点検

組合員から申し出いただいた商品への苦情・ご意見・要望について、品質の不具合は改善し、より良い商品の提供を追求しています。

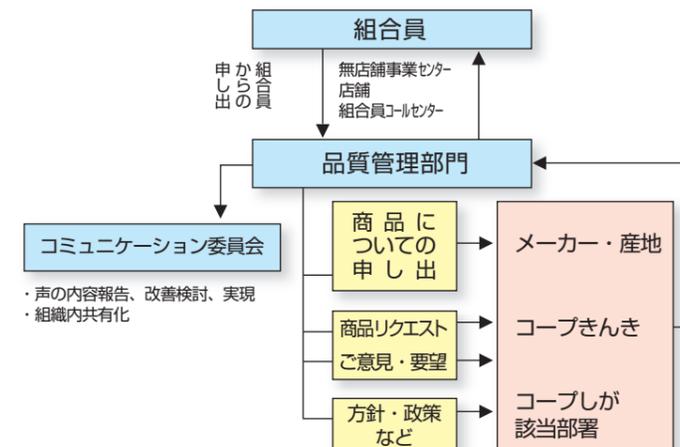
<私もひとことカード>に寄せられた組合員の声



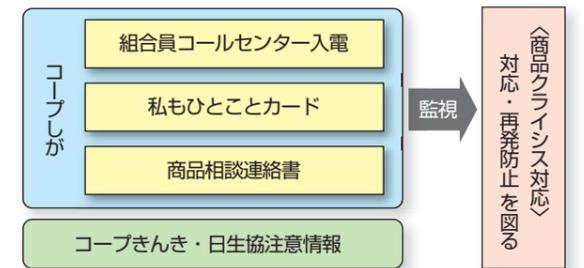
<商品相談連絡書>への申し出



<組合員からの声の流れ>



<予兆監視>



申し出内容や危険異物の混入や体調不良などの人体被害の申し出、これにつながる可能性も含め予兆監視を強化し、危害拡大防止や原因追及に迅速に対応しています。

2012年度 31産地・生産農家を訪問し点検しました。

生協の農産物の品質保証システム 生協は信頼できる生産者と提携することで、安全を確認できるようにしています。

- ①「いつ」「誰が」「どんなふうに」栽培したかを明らかにします
信頼できる生産者と提携しています。お届けする前には青果物栽培仕様書で適正に栽培されているかを確認します。
- ②お届けする前に残留農薬検査で栽培の確かさを検証します
残留農薬検査で青果物仕様書のとおり栽培されているか確認します。
- ③産地・生産者とのコミュニケーション
生産者のみなさんには畑ごとに栽培履歴を記録していたりと共に、生協が作成した「生産工程管理点検表」を使って自己点検していただくようお願いしています。その内容を年に一度、生協と生産者で相互確認しています。

生産工程管理点検の確認

- 圃場確認作業
生産の様子や行程を目で確認し、記録も残しています。
- 農薬保管庫の点検
- 生産記録の確認



生産者、行政、他団体をつなぎ 「滋賀県産」にこだわります

県内産直開発

地産地消の商品開発と県内産直を強化することにより、地域振興や社会貢献につなげています。持続可能な生産に配慮した産直は、環境保全・循環型農業の推進にもつながります。

①昨年より引き続き、県内産直米の登録利用による「マザーレイク滋賀応援寄付」に取り組み、登録米1kgにつき1円を支出し、県に寄付しました。

コープしがの登録米は環境にこだわっており、農業

使用を制限しています。田んぼや生き物にやさしく、また農業用水の排水から流れ込む琵琶湖にもやさしく、環境に配慮しています。登録米を広げることで琵琶湖への環境負荷も軽減する取り組みです。

②同様に展開した滋賀県主催の「おいしが、うれしが」と連携し、県内原料を使用した商品開発や、県内で生産した商品を展開し地域産業の活性化にも貢献しました。

「商品づくり委員会」について

この委員会は、1)産直商品を使った商品を開発し普及することや、2)県内産商品の開発・新規取り扱いをすすめることで地産地消の推進を目指しています。また、3)過去の開発商品の見直し・改善や、4)「オリジナルクリスマスケーキ・おせち」の検討、5)開発商品を広く組合員に

お知らせしていくことを主な目的としています。

2012年度は、オリジナルクリスマスケーキとオリジナルおせちの開発と普及、産直商品と県内産の原料を使用した商品(2品目)の開発に取り組み、産直商品(原料)の普及と地産地消の推進に寄与しました。

**生協牛乳120を使った
ミニブレッド(スライス・ブロック)**
生産者名:西洋軒
滋賀県産小麦を50%配合し、水を使わず生協牛乳120だけで練り上げました。発酵バターや牛乳の風味豊かなほんのり甘い食べきりサイズの食パンです。

2012年度
開発商品



ミルクソフトドーナツ・ココア
生産者名:西洋軒
県内産小麦を100%使用し、生協牛乳120のみで捏ね上げた柔らかく、しっとりとしたミルクソフトドーナツにココアとチョコパウダーを混ぜ込みました。

2012年度
開発商品



「2012年度 商品づくり委員会のみなさん」

生産者と手をつないで 食の安全・安心と安定をめざします

コープしがは地産地消・産直・県内開発の近い食をすすめます

生産者と消費者の交流

滋賀県は稲作を中心とした農産物の生産県で、食料自給率(カロリーベース)は約50%あります。コープしがでは持続可能な安定供給をめざし、地産地消、産直提携を推進しています。その一環として、食と農の体験研修・産直フォーラムを各地域で開催し、生産者と消費者の交流を深めています。



第6エリア産直フォーラム地域版(ミニトマト生産者)

生産者や研究者と地域連携し 地産地消をすすめます

—お米・ご飯食のすすめ—

滋賀県はびわ湖の逆水が利用出来るなど稲作に適した環境条件があり、水田転作の麦・大豆や飼料米の作付けも増えつつあります。先進的な環境こだわり米の利用普及や休耕田の有効活用になる「エサも地産地消」の取り組みの一環として、産直こめ育ちさくらたまごの利用普及も進めてきました。そんな活動を通して、耕作・畜産農家の耕作連携による循環型農業、及び水田フル活用による治水・環境保全など水田の多面的機能維持に努めています。

こういった地産地消の取り組みは、エコフィード(食料残渣の有効活用)やフードマイレージ(食料輸入の重量と距離による環境負荷)の面からも、私たち消費者の大切な取り組みです。



『地産地消推進協議会及び飼料米利活用推進協議会』の取り組み

地産地消推進協議会・飼料米利活用推進協議会では、県内の主要な生産者・JAや生協を中心に、行政にもオブザーバー参加していただき地産地消の推進を行ってきました。お米の消費拡大や県内特産品の掘り起こし活動をすすめると共に、毎年食と農に関するシンポジウムを開催しています。今年「食と農を考える白熱フォーラム」を開催し、TPP、農業の現状や新規就農問題、地場産の安定供給などについて活発に発言がありました。



2012 食と農を考える白熱フォーラム



役職員による飼料米圃場の授農活動

JAおうみ富士との 地場産提携に関する協同組合間協定



2012年12月より里芋(大野芋)の商品企画を展開しました。今後キャベツ、さつまいも、菜花、にんにくなどを企画することを検討しています。



さつまいも収穫体験 おうみんち周辺の畑にて



様々な世代や多様なライフスタイルに応じた活動参加ステージ

コープしがでは「一人ひとりの想いや願いを協同の力でかなえていく」ことをめざして「組合員どうし」「生産者と消費者」「地域と生協」をつなぐ多様な取り組みを進めています。

商品の活動

産直フォーラム

2012年10月～12月に産直生産者と組合員の交流を中心とした取り組みとして産直フォーラム地域版を、また2013年3月に「これからの産直についてみんなで考えよう」～今日の食卓から20年後の食卓を～と題して生産者、組合員が互いに自立、対等な立場であることを理解し持続可能な産直について今からできることは何か話し合い深める機会として第9回産直フォーラムを開催しました。



産直フォーラム地域版

産直フォーラム

生産者との交流

たべる*たいせつキッズ

生産者との交流

コープしがでは産直産地への訪問交流を活発に行っています。参加された組合員からは“生産者の顔と商品がわかり、食べものの事を考える体験ができました。”など多くの感想をいただいております。一人ひとりの貴重な経験や思い出となり、話題づくりや産直商品の購入につながっています。



商品づくり委員会

食と農学習会

迎春商品学習会

子育てひろば

さまざまな組合員活動

ぱくぱくパーティー

おしゃべりの楽しさ、家族の語らいの場を商品セットの提供を通じて支援する「ぱくぱくパーティー」。6～8月の期間に5,150パーティー、のべ18,160人が集う取り組みとなりました。

パーティー終了後に提出いただく「ぱくぱくメモ」は役職員で読み込み、組合員のくらしの実感や生協への想いなどを共有化し、事業に活かしています。

こんな声を、頂いています

●高齢化がすすんでいます。私の近所でもひとり暮らしの方が増えて、なにが役にたつことはできないかと思っています。

●子育ての悩みを近所でする人がいなくどこかに子育てママが集まれる場所があると良いと思います。そのような場所をコープで多くつくってほしいです。

●地域とのつながりで風習や伝統行事など若い人につないでいきたいが、いそがしい方が多くこのままでは廃れてしまわないか心配です。

●コープの商品は、安心できますが少し価格が高いように思います。利用の輪が広がって価格が少しでも低価格になることを望みます。

企画・準備して学習する集まり

各地域の地域委員会では、くらしに役立つ講習会や生協商品(牛乳や冷凍魚等)を使った料理講習会、体験学習会(防災学習会等)など、楽しく学び、ためになる催しを企画運営しています。

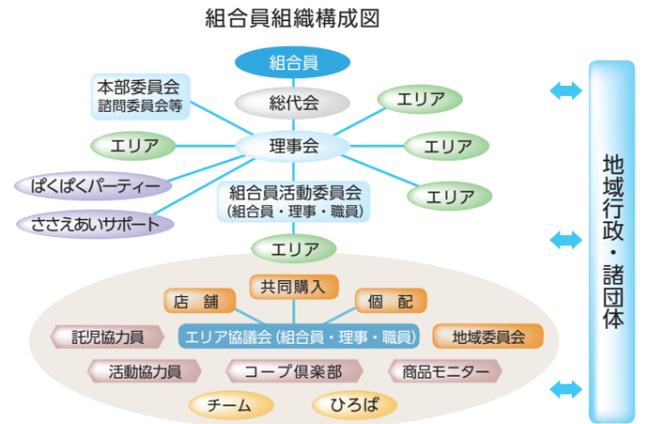


三元豚 学習会

組合員みんなの想いがつながって、広がって

組合員による「運営と参加」

組合員の活動は、県内を7つのエリアに分け、「エリア協議会」を中心に、行政区単位を基本に設置されている31の「地域委員会」が各地域で様々な活動に取り組んでいます。コープ商品学習会や産地見学など、学び知り、知らせる交流の場作りを行っています。また個々の組合員は、学びの場コープ倶楽部やひろば活動・チーム活動など感心や興味がある活動・催しなどに参加しています。



平和を願う活動 ヒロシマ平和学習・ユニセフ

ヒロシマ平和学習

組合員から寄せられた「平和募金」を活用し、「2012ピースアクション in ヒロシマ」に参加しました。

原爆資料館の見学、平和記念式典参加、講演会などを通して、戦争の恐ろしさや日常生活の幸せ・平和を感じることが出来ました。

また、毎年8月6日に三井寺で実施されている原爆死没者慰霊法要に平和への願いを『短冊(平和への提言)』に記し、参加できない組合員も含め96名の組合員が想いを寄せ合うなど、平和についての学習会を開催し平和を願う活動、交流がすすみました。



ヒロシマ平和研修

ヒロシマ平和研修

ユニセフ、災害支援

(財)日本ユニセフ協会へお年玉募金などの取り組みを通じて2,578,156円の募金を贈呈しました。

震災復興支援の取り組みでは、復興支援バザーを11月に実施し売上金などを宮城県漁協志津川支所に贈りました。

また、福島の実状について学び「安心して住める福島を取り戻す」ための署名活動に取り組み全体で17,289筆集まり福島生協連に送りました。

2012年組合員募金活動の実績	
宮城県南三陸町生活支援募金	3,723,661円
福島の子ども保養プロジェクト募金	7,434,762円
宮城県漁業生産者復興募金	2,660,984円
学校図書館げんきプロジェクト募金	1,260,539円
3.11を忘れない「福島」くらし応援募金	3,146,510円
東日本大震災復興支援バザー	278,565円



三井寺慰霊法要・ピースアクション



平和について考える学習会



東日本大震災復興支援バザー



人のつながりの中で、よりよい暮らしをともにつくる ウェルビーイング (well-being) な福祉をめざしています

※ウェルビーイング(well-being)とは、幸福な状態、安楽な状態を表す言葉です。くらし方、働き方、生き方を、地域に暮らす全ての人が自己実現できる権利が保障されている考え方を表しています。

コープしがでは福祉を広くとらえ、一人ひとりの人間が社会的なつながりの中で、幸せをめざして生きていく力が伸びることと考え「よい状態を共につくる協同」をめざしています。人のつながりの中で、ふだんのくらしのしあわせを共につくる支えあいとして福祉をとらえ、地域の諸団体ともに「くらしを創造する福祉」に取り組みたいと考えています。

くらしの相互扶助制度「ささえあいサポート」

組合員同士がお互いさまの気持ちでくらしを支えあう、相互扶助制度として2006年にスタートしました。依頼受付件数は24,000件を越え、子育てから高齢者だけでなくさまざまなご依頼がよせられています。
(2012年度実績は 4,073件、7,233.5時間)



パソコンサポート
ホームページに作品掲載のお手伝い



庭木手入れのお手伝い
男性サポーターさんが活躍

サポート内容

家事援助、ペットのお世話、庭の手入れ、介護者の応援、託児サポートなど
利用料金: 1,200円/1時間(一般的な活動)
 1,600円/1時間(技術、体力がいる活動)
電話: 0120-294-589(月~金 9~17時)
FAX: 077-574-1570
E-mail: fukushi@coop-shiga.or.jp

地域の交流の場「ゆめふうせん」

「ゆめふうせん」は個人や団体など地域の方々に会議や学習の場として、また趣味の集いなどにもご利用いただいています。誰でも気軽にふらっと立ち寄れる屋根付き公園の「ふらっとプレイス」は憩いの場として、子どもさんたちが元気に遊び、お母さんたちの笑い声があふれています。



障がいのある方が働く「れもん会社」さんをお願いして、おもちゃのコープのお店を作っていました



コープのお店やさんは大賑わい!
お店屋さんごっこは大人気です

サポート内容

貸し室: 500円/半日、(月~金 9時30分~17時) 要予約
 ふらっとプレイス: (月~金 10時~16時) 予約不要
 ※貸し室、ふらっとプレイス共にささえあい協力金
 (100円/大人1人)が必要

地域ネットワークを広げる取り組み

ふくし全体フォーラムを開催 福祉情報誌の発行

県内の各地で活動されている個人や団体取材訪問し、活動内容や活動者の想いに触れることができました。その内容は福祉情報誌「福祉ネットワーク通信」に掲載し交流を深めることができました。また、学びと交流を目的に「ふくし全体フォーラム」を2回開催し、組合員・地域住民・役職員と立場を超えて、ともに学び、交流する場となりました。

第1回ふくし全体フォーラム 2012.10.13
介護福祉士会村田会長を講師にお招きし「居場所」についてワークショップをしました。



第2回ふくし全体フォーラム 2013.2.9
不登校や認知症の家族の会などから語り部として参加いただき、お話を耳を傾けました。

ふくし情報電話の取り組み

「ちょっと知りたい」から「とても困った」ことまで介護や認知症のこと、子どもを一時保育してくれるところ、不登校や学校生活の問題、心の悩み その他どんなことでも、その方

に役立つ情報提供や相談窓口への取りつなぎを致します。

サポート内容

電話: 077-571-1561(月~金 9~17時)
 FAX: 077-574-1570(月~金 9~17時)
 E-mail: fukushi@coop-shiga.or.jp

コープしがの社会的取組み 地域とともに、 社会貢献活動に積極的に取り組んでいます

東日本大震災復興支援「希望をつなぐプロジェクト」

2011年3月11日に起こった東日本大震災からの復旧、復興を支援する活動を現在まで継続して取り組んでいます。

2011年は発生から6月まで緊急支援物資と職員の応援派遣を行いました。12月から職員のボランティアバス南三陸支援隊として4回、2012年度も4回実施しました。その他、震災復興コンサートや震災支援バザーの取り組み、外出が制限されている福島の子どもたちを滋賀・奈良・大阪で子ども保養プロジェクトなどに取り組みました。

また被災地を支援する募金活動も積極的な組合員からの支援を得て、南三陸町漁協や福島県生協連等へ送金しました。



地域の安全を守る取り組み 組織あげて行う重大交通事故の再発防止策

交通安全の実践

2011年9月5日(月)コープしが職員の運転する車両により人命を奪う重大な交通事故を発生させました。二度とこのような事故を発生させない決意の下、次のとおり再発防止に向けた具体的な取り組みを行います。県民や組合員の皆様から、道路をお借りして生協活動させて頂いている謙虚さを持ち、「コープの車両は安全運転を実践している」と皆様に認めてもらえるよう、全組織を挙げて全力で取り組み、皆様の信頼に応えられるよう、安全運転の徹底に努めます。

【具体的な再発防止策】

1. 「安全運転の誓い」を設置し、全職員で遵守します。
2. 「安全運転実践行動」を各車両に表示し、外部にも遵守することを公言し、実践を確実に進めます。
3. 組合員、県民に向けて、安全運転宣言を広報し取り組みを誓い、さらに実践します。
4. 日常の車両運行について地域から道路をお借りして活動を行っている認識を常に持ち、安全運転に取り組みます。とりわけ高齢者や子どもをはじめ、地域の方々の安全を第一に、配慮ある運転を実践します。
5. 教育・研修・啓発活動を日常的に行います。
6. 過去に起こった事故を振り返り、訓練を日常的に生かします。
7. 安全運転管理に関する賞罰及び損害賠償細則の適用を厳密に実施します。

(件)

事故発生状況 (3月末累計)			
車両台数	2012年度	2011年度	2010年度
169	50	56	48

【飛び出し注意】看板の設置

地域の安全確認の注意が必要な場所に、「飛び出し注意」看板を組合員や自治会などに紹介し、県内に約1,800枚が設置されました。



【子ども110番のくるま】地域の見守り活動

2004年から行政や警察、教育委員会などのみなさんとともに、配送車両にステッカーを貼って、地域の見守り活動をすすめています。



コープしがと協定を締結している自治体

滋賀生協連やコープしがでは、滋賀県や地域行政との間で「災害時生活物資の調達に関する協定」を結び、防災訓練に参加し、大規模な自然災害等に備えています。

大津市	平成17年1月13日
愛宕町	平成17年1月13日
高島市	平成17年6月22日
近江八幡市	平成18年2月14日
彦根市	平成19年1月17日

新たな自治体との取り組みを始めました

◇2012年10月3日米原市「絆で築く安心な街づくり協定」締結
 ◇2013年3月18日草津市「安心が得られるまちづくりに関する協定」の締結

この両市との協定では、市民の安全及び生活環境を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、日常的に高齢者や子どもたちの見守りや道路の異常などを配送者が発見した際にその情報提供したり、災害時の食料品や生活必需品の供給、被災者の情報を提供する協定です。

【認知症サポーター】の取り組み

2012年無店舗センターを中心に全県で役職員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、彦根センターは彦根市の認知サポーターキャラクター「オレンジロバ」ステッカーを配送車両に貼り推進しています。



また高島市でも「見守りネットワーク推進会議」に参加し社会福祉協議会や行政機関と連携し地域の見守り活動に協力しています。

【児童虐待防止「オレンジボンキャンペーン」の取り組み

2008年より滋賀県児童虐待防止月間に全役職員が参加し「オレンジボン」を着用して、児童虐待防止を訴え、発見時は各市町窓口へ連絡する取り組みをすすめています。



【滋賀県におけるレジ袋削減に関する協定】の取組み

滋賀県内小売24社と12の団体が、4月1日よりレジ袋の有料化によりCO2削減の取り組みを開始しました。コープしがでは1983年瀬田店より全店で有料化を行い、現在お買い物袋持参率が95%を超えています。

【マザーレイク滋賀応援寄付】の取り組み

コープしがでは無洗米利用登録やCOOP洗剤の利用高から、琵琶湖の環境を守る取り組みに寄付をすすめています。



組合員とともに歩むコープしが 人のつながりを大切にし、 組合員のくらしの安心と向上をめざしています

1. 滋賀の生協運動のはじまりとコープしがの誕生

滋賀の生協運動

1970年代、琵琶湖の環境汚染問題や当時の食品添加物の安全性の問題などから、地域の婦人グループや団体、労働組合などの活動により、1972年に滋賀の生協運動が始まり、4つの地域生協が誕生しました。

各生協では有害添加物の排除や生産者の顔が見える減農薬や産直を育ててきました。家庭から出る廃食用油を使った石けん使用運動などで、琵琶湖を守る運動として「琵琶湖条例(富栄養化防止条例)」の制定など大きな役割を果たしてきました。

2. コープしがのめざすもの

使命

2003年第3次中期計画で、新たな10年を展望して「コープしがのめざすもの(使命)」を策定しました。この使命は事業体を通じて「安心とぬくもり」を提供し、人・社会・自然を大切に社会的責任(CSR)の姿勢を明確にしました。

3. 生協の基本的価値(生協法)

生活協同組合(生協)は、組合員が出資し、組合員が運営し、組合員が利用する三位一体の組織です。生協法は「国民の自発的な生活協同組合の発展を図り、国民の生活の安全と生活文化の向上を目的」(第1条)とするとしています。

4. ICA 協同組合のアイデンティティ

定義

協同組合は、協同で所有し、民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満すために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれ創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という論理的価値を信条とする。

原則

1. 自発的で開かれた組合員制
2. 組合員による民主的管理
3. 組合員の経済的参加
4. 自治と自立
5. 教育、訓練及び広報
6. 協同組合間協同
7. コミュニティへの関与

コープしがの誕生

しかし1980年代後半、くらしの変化や価値観の多様化、バブル崩壊により経済危機など生協を取り巻く環境が変化し、協同組合の原理・原則を基本として運動や事業の形態を変えていくこと、さらに21世紀に向けて滋賀の生協運動の役割を果たすため、1993年3月21日、県内の4生協が合併し「生活協同組合コープしが」が誕生しました。



2013 コープしが設立ありがとう 20周年記念 ロゴ



第1回通常総代会議案書 (1993年5月)

コープしが: スパイラルマーク



地球上にすむ生物は、一つの生命体から進化した家族であり、それらは地球から多くのことを学び、発展してきました。1993年3月、滋賀県の4生協は「自然・世界とともに発展する生協」をキーワードに「コープしが」として新たに発足しました。シンボルのスパイラル(うず巻き)は、コープの「C」を表すほか、巻貝、蔓、渦、波紋、風などの自然を象徴し、さらに、求心と拡大、進化の軌跡などの発展を象徴しています。私たちは、いつも大きな共同体の一員であることを意識して生きていきたい。そして、「公平さ」「賢明さ」を大切にしていきたいと思ひます。

2020年ビジョン(ありがたい姿)

～私たちは人と人がつながり、
笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざします～

第6次中計画(2012~2014年)の主な骨子

2020年ビジョンを見据えた最初の3ヵ年として、「新しい生協づくり」の第一歩を踏み出します

アクションプラン3

〈世界と日本社会への貢献〉

平和で維持可能な社会と安心してくらする日本社会の実現をめざし、積極的な役割を果たします。

- ① 新環境政策にもとづき、低炭素・自然共生・循環型の社会実現に向けて、省エネの推進、廃棄物の削減、環境保全等の取り組みを強めます。
- ② 世界的な食料事情を見据え、県内のJAや農家との連携を図り、食料自給率向上に貢献します。

アクションプラン2

〈地域社会づくりへの参加〉

地域のネットワークを広げながら、地域社会づくりに参加します。

- ① 地域の行政やさまざまな団体と協同し、ささえあいサポートをより広めます。
- ② 介護保険事業(訪問介護、通所介護等)を含めた新たな福祉事業に挑戦します。
- ③ 生協の事業・活動のインフラを活用しながら、地域社会の変化から生まれる新たなニーズに応えた取り組みを展開します。
- ④ 大規模災害時においても食の調達と事業継続が図れるようBCP(事業継続計画)を作成します。また、災害時物資協定や災害訓練等、地域行政との連携を強めます。

アクションプラン1

〈ふだんのくらしへの役立ち〉

組合員の願いを実現するために、食を中心にふだんのくらしへの役立ちをより一層高めます。事業革新に不断の努力を続け、組合員のくらしに貢献し信頼を培います。

1. 無店舗事業
 - ① 組合員一人ひとりの満足度の向上をはかり、組合員の利用を高めます。
 - ② 商品やサービスを充実することで一人当たりの利用点数を増やし、世帯利用高の維持向上をめざします。
 - ③ 毎年1万人以上の組合員を新たに迎え入れ、基幹事業として成長させます。
 - ④ 効率的な配送の追求と地域に適した配送形態の実施により、収益性をより高めます。
2. 店舗事業
 - ① 店舗事業の経営改善をはかり、独立採算をめざします。
 - ② 多くの組合員が生協店舗を利用できるよう、SM店の多店舗展開をめざします。
 - ③ 店舗は買い物だけでなく、組合員の集う場として、各地域の組合員活動の拠点にします。

アクションプラン4

〈元気な組織と健全な経営づくり〉

組合員が元気に参加し、職員が元気に働き、学びあい成長する組織と、健全な経営を確立します。

- ① 地域と結びついた元気な組合員活動を推進し、多様な参加を広げるとともに、活動の拠点として集まれる「場づくり」に取り組み、機関運営・組織運営への参加を高めます。
- ② 国際協同組合年(2012年)、コープしが20周年(2013年度)を、今後のコープしがの発展につなげていく契機にします。
- ③ 職員の満足度を高め、より能力を發揮できるよう制度や運用の改善をすすめます。
- ④ 更なる事業の成長のための投資やサービス向上が可能となる経営構造を確立します。
- ⑤ 環境変化に対応できる強い財務構造の確立をめざします。
- ⑥ 組織の健全性や効率的な運営が確立されるよう内部統制の強化を図ります。
- ⑦ 子会社グループとの連携強化による経営改善を図り、将来ビジョンを検討します。

アクションプラン5

〈さらなる連帯の推進と活動基盤〉

全国の生協が力を合わせ、組合員のくらしに最も役立つ生協に発展させます。

- ① 日本生協連やコープきんぎとの連携をもとに、食の安全安心をさらに追求します。
- ② 無店舗事業は、コープきんぎとの連帯を強め、コープきんぎ各生協との連携をすすめます。
- ③ 店舗事業は、近畿圏の生協との連帯をすすめ、本部機能の効率化と統一仕入による効果を高めます。
- ④ くらしの保障事業は、組合員とその家族が一番に選ぶ共済事業をめざします。
- ⑤ 日本生協連を軸にした広域連携に参加し、大規模災害時対応に備えます。



「コープしがは、10年後には、滋賀県民の誰もが参加できる生活協同組合として、事業を進化発展させ、県民の過半数が利用する組織に成長することをめざします」



「内部統制基本方針」にもとづき 「コンプライアンスとリスク管理」の取り組みを すすめています

1.コーポレートガバナンスの状況

機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する総代会、総代会から選任された理事会と組合を総理し業務執行する代表理事、その決定や業務執行を監視する監事で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。



第32回通常総代会(2012年)
(会場、採決)



理事研修会

組合員の運営参加



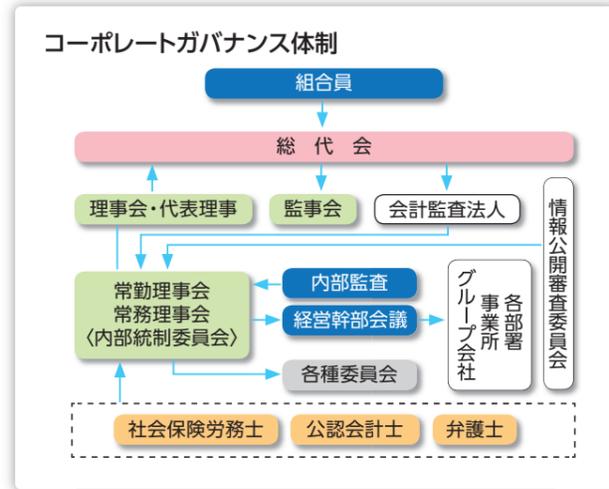
年度末総代懇談会(長浜臨湖)



年度末総代懇談会(米原公民館)

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する監事監査、会計監査法人による外部の会計監査、内部監査担当による監査の三様監査でチェックしています。



3つの運営参加

組合員は、無店舗事業や店舗などの利用を通じて参加する「事業活動ライン」、地域委員会やエリア活動を通じて参加する「組織運営活動ライン」、そして「総代」の地域別総代会議や懇談会などの活動を通じて参加する「機関運営活動ライン」をもとに生協に運営参加します。

総代の活動

総代は、総代会に参加しコープしがの方針を決定します。そのために総代会以外の年3回の会議で、活動への参加や利用の参加を通じて組合員のくらしやニーズなどを生協へ意見を述べます。

3.リスク管理の徹底

リスクマネジメント

コープしがの全業務に係わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し発生防止に努めています。全職員にリスク教育を行い、発生防止対策や発生時と収束後の対応をルール化し徹底しています。

危機管理

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。地震や台風など大規模災害の対策は、震災対策マニュアルやBCP(事業継続計画)を整備し、組合員や地域への事業者責任を果たす準備や対策を講じています。

2.コンプライアンスの推進

コンプライアンス宣言と教育

2005年「コンプライアンス宣言」にもとづき「コンプライアンス法令倫理遵守基本方針」を策定し、「コンプライアンス自主行動基準」によるハンドブックの携帯、学習、セルフチェックなど教育活動を積極的に取り組んでいます。

個人情報保護

個人情報保護法にもとづき15万人組合員データをセキュリティにより適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。取引先や委託業者には覚書を交わし、安全管理の義務付けと定期的な点検を行っています。

組合員一人ひとりの声を しっかりとつないでいきます

組合員コールセンター

組合員コールセンターにお寄せ頂いた組合員の声は、より良い生協作りにつなげていきます。様々なお気づきの点など、お気軽に声をお寄せ下さい。

組合員に喜んで頂ける様、「ありがとう」の声を頂ける気持ちの良い電話対応を心掛けております。そして、組合員からの声を頂く部署として、「私もひとことカード」や「ぱくぱくメモ」なども含め、コミュニケーション委員会にて問題点や改善事項の協議

をしています。また、組合員の思い、事例研究の実施などによりコープしが全体で受け止め、共有化を行っています。



問い合わせ内容と件数

※受付期間：2012年4月度～2013年3月度

No	問い合わせの種類	お電話の件数
①	電話注文・訂正	215,829
②	良品返品	12,864
③	商品不良	7,173
④	商品苦情	684
⑤	商品問合せ	9,046
⑥	過不足	13,768
⑦	未誤配	6,538
⑧	配送	31,883
⑨	手続き	21,492
⑩	購入代金	8,516
⑪	夕食サポート	6,996
⑫	意見・要望	692
⑬	インターネット	1,304
⑭	その他	13,691
⑮	合計	350,476

組合員コールセンター会話事例

ぬくもり割引について

組合員の声 子どもの誕生日がまだ3歳になっていないのにぬくもり割引の終了のお知らせが入っていていつが終わりか調べて欲しいです？

対応 今回は母子手帳の日付で入力していたため、お子さまの誕生日との差が生まれました。ぬくもり割引の終了のお知らせ用紙の案内で改めて誕生日の確認をさせていただき、3歳までぬくもり割引に対応させていただきます。

ブロッコリーについて

組合員の声 昨日届いたブロッコリーですが、汁が出ていて腐っています。こんなにひどいと思わなかった。一度凍った状態でその後解凍された感じが、凄く臭く困っています。

対応 軟腐病の混入、品質不良「軟腐病」につきまして入荷段階で発泡スチロール1箱づつ検品し異常を発見するとその箱ごと使用しない様に改善しました。

うれしい声

組合員の声 現在2才になる次男の出産を機に個人配達を始めました。始める前は配達に驚愕かと思いましたが買い物時間を有効に活用できますし広告を見ることも楽しいです日用品のコーナーは便利な物が紹介されていて助かっています。

内容 普段の購入額は5,000円ぐらいで、毎回配達時には在宅していただいています。お米、雑貨類、お子様のおやつをたくさんご利用頂いています。配達時にはお子様2人が喜んで迎えて頂き、私達も笑顔になります。

組合員の声 注文した品々はとても新鮮で安心して頂いております。また、品々も完全な冷蔵・冷凍になっており、感心しております。わからない事は丁寧・親切に教えていただき大変助かっています。

内容 配達時お会いすることが出来る組合員様で普段から気さくにお話をさせて頂き、お互い楽しく接しさせて頂いています。たまごの登録や牛乳の登録など商品の事でいろいろ質問されてきても、丁寧に対応する様に心がけていきます。

事例研究報告

組合員の声 脱退するつもりでしたが、いつも担当さんにはよくしてもらっているから、今回は脱退するのをやめられるとのこと。来週月曜日からも通常通りをお願いします。これからはよろしく願いしますとおっしゃっていました。

共有した内容 組合員さんの事情で生協をやめる手続きをしていましたが、組合員担当者とお話をして生協をやめる事を考えなおした事例です。様々な原因で生協を離れる方への最後の砦として力強い担当者の一言、日頃のコミュニケーションが大切です。今回の様な良い事例を多く増やす事が出来る生協にしましょう。

共同購入・個配対象
(店舗は各店舗受付まで)

問い合わせセンター ☎0120-709-502
受付時間(月～金曜日 8:30～20:00、土曜日 11:00まで)

電話注文センター ☎0120-190-502
受付時間(月～金曜日の配達日の翌日 10:30まで)



組合員とともに歩むコープしが

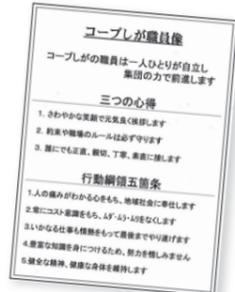
「コンプライアンス自主行動基準」を遵守し 「コープしが職員像」を実践します

コープしがでは、すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げ、「三つの心得」と「行動綱領五箇条」を常に意識し、コープしが職員としての自覚をもち、業務を行っています。

すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げ、「三つの心得」と「行動綱領五箇条」を常に意識し、コープしが職員としての自覚をもち、業務を行っています。



新年役職員全体集会



組合員のくらしのお役たちのため、 多様な雇用形態の中で働いています

正規職員、準職員、嘱託・パート・アルバイト職員など約820名が働いており、特に組合員宅へ商品配達する「組合員担当者」の約42%はパート職員が担っています。店舗では全職員の約97%以上が嘱託・パート・アルバイト職員で運営され、うち店長4名、副店長職5名、チーフ職7名が役職をもっています。またこの7年間で10名がパートから正規職員へ登用されています。

正規職員は人事諸制度を活用し、 能力開発とキャリア開発をすすめています

人事諸制度は、人材育成を目的として職員と上司が年3回面接し、成果や課題、能力や態度など仕事のプロセスも含め評価し、昇級や賃金への反映などを行っています。

教育制度は、採用・振り返り・中堅職員などの階層別や役職別の研修、職務上の知識や技能を習得する目的別研修、また自己キャリア開発などの資格取得奨励にも取り組んでいます。



仕事力向上研修



振り返り研修

働く意欲を持つ定年退職者の再雇用制度

「職員定年後再雇用規程」を設け、本人の勤務希望などに応じて正規職員や定時職員の再雇用をすすめており、2006年3月から2012年3月までに11名を再雇用しています。

コープしがでは、全ての役職員が遵守する 「コンプライアンス自主行動基準」をもとに 行動しています

I. 組合員の願いを実現するために

- ① 組合員の願いを応える商品・サービスの実現
- ② 組合員の声を聴き誠実な対応
- ③ 正確・適切・正直な商品情報の提供
- ④ 商品事故や法令等違反を防ぎ、発生した場合の万全な対応
- ⑤ 組合員個人情報の取り扱いと漏洩防止
- ⑥ 全ての組合員に分け隔たりない公平な対応

II. 健全な経営と運営をすすめるために

- ① 法令や定款・規約・内部諸規定にもとづく健全な事業経営
- ② ルールにもとづく適正な機関運営
- ③ 適切な情報公開と開示
- ④ 内部監査の充実
- ⑤ 役員や指導的立場の職員の責任の重さと自覚を持った職務遂行
- ⑥ 知的財産権の遵守

III. 社会から信頼されるコープしがとして

- ① 関連法令の積極的な遵守
- ② 交通事故・違反ゼロ
- ③ 地域から信頼される施設管理
- ④ 琵琶湖・地球環境を守る良くなる活動
- ⑤ 社会貢献の実践
- ⑥ 知的財産権の遵守

IV. 取引先・生産者のみなさんと健全な関係を築くために

- ① 公正な取引先の選定
- ② 対応・平等・公正な取引
- ③ 不当な要求等の禁止
- ④ 社会通念上許容される範囲の贈答や接待

V. よりよい職場、安全で働きがいのあるの実現

- ① 基本的な人権と個人の尊厳の尊重
- ② セクシャルハラスメント行為の禁止
- ③ プライバシーの保護
- ④ 健全な職場環境の整備に向けた改善
- ⑤ 風通しの良い組織風土

VI. コープしが役職員としての自覚と誇りをもって

- ① 法令や諸規定、職場のルールや約束事の遵守
- ② 生協の財産を守り有効な活用
- ③ 迅速且つ正確な経費等の申告・処理
- ④ 業務を通じた個人的利益の追求の禁止
- ⑤ 細心の注意を払い配慮した情報の取り扱い

働きがいのある職場づくり

人の能力や適性に配慮した 障がい者雇用の促進

事業所の障害者雇用率や定着率など障害者雇用について評価され、平成19年度障害者雇用優良事業所に選定されました。2012年度末の障害者雇用率は2.1%で、法定雇用率2.0%を上回っています。

誰もが安全で安心して働ける職場環境の実現

労務担当役員と各職場代表で構成する「中央労働安全衛生委員会」と各職場の「職場労働安全衛生委員会」を設け、労働災害の発生防止や5Sの推進、健康増進活動、腰痛体操や腰痛検診の実施、全事業所に設置するAED研修、防火訓練などに取り組んでいます。

また「ハラスメントに関する基本方針」を掲げセクハラやパワハラ等の行為防止の啓発、「ヘルプライン相談窓口」や「メンタルヘルス相談窓口」を設けて外部専門機関などと連携しながらすすめています。



AEDの講習会

労災事故件数 (件) (スリキズなどの小さなケガも含んでいます)

年度	合計
2008年度	47
2009年度	25
2010年度	33
2011年度	31
2012年度	35

ヘルプライン対応状況 (件)

年度	合計
2008年度	9
2009年度	6
2010年度	4
2011年度	4
2012年度	4

相談内容は、ほとんどが職場の人間関係や上司への不満等で、重要な不法行為等の通報はありません。

役職員相互の親睦や相互扶助、 福利厚生を目的とした互助会制度

福利厚生の増進と親睦、交流などよりよい人間関係を形成するため互助会制度を設け、厚生旅行やサークル活動などへ援助し、文化・健康増進企画の補助を行っています。



サークル活動「ドリームス」



サークル活動「テニスミーミン」



互助会活動「ボウリング大会」



表彰制度

素直に感謝しあう職場風土づくり

コープしが職員の行為が、組合員や地域の方から「良かった、ありがとう」と感じていただいた事例を共有するため表彰制度を設け、個人のモラル向上や仕事のレベルアップ、組織の活性化、風土づくりを目的に取り組んでいます。

働きやすい職場づくりを労働組合とともに

労働組合は正規職員・パート職員によるユニオンショップの形態をとり、コープしがでは労働者の心と体の健康や権利を守り民主的な職場運営を図るため、労働組合と協力関係を築いています。



安全・安心な商品をお届けする「無店舗事業」

無店舗事業

無店舗事業は、県内全域に配置している
10か所の無店舗事業センターから13万人の組合員宅へ毎週配達しています。



北大津センター



彦根センター



草津センター



南草津センター



さあ、安全運転で出発!

今週のおすすめ商品が楽しみ。みんなで集まるのが楽しくなるわ。

便利



宅配

コープの安全で安心な商品は、生協に加入して利用できます。加入待っていますよ。

共同購入や個配(個人配達)は、組合員から前週に注文を受けた商品を、毎週決まった曜日・時間、指定された場所へ配達します。

注文方法 通常はOCR注文書や、電話注文センターへ電話して注文を行います。

☎0120-190-502

月～金曜日 8:30～20:00 土曜日 8:30～11:00

インターネット注文

自宅のパソコン・携帯から登録して、好きな時間に注文ができる、かんたん・ベンリなシステムです。



<http://www.pak2.com/> で 検索

無店舗の利用方法				
共同購入 (グループ購入)	ご近所のお友達や、職場の仲間など3名以上で利用できます。	配達手数料無料		
ステーション購入	地域ステーションは、指定場所に決まった曜日に商品を取りに行きます。	預かり手数料無料		
個配 (個人配達)	ご自宅まで商品をお届けします。配達手数料は、固定費と利用額に応じた手数料の合計です。			
	システム使用料	利用手数料 (利用額で変動します)	配達手数料	
	70円 (固定費)	4,000円未満	180円	250円
		8,000円未満	160円	230円
12,000円未満		130円	200円	
	12,000円以上	110円	180円	
めくもり割引(子育て世代の方、高齢者の方、障がい者の方に優しい制度です)				
システム使用料	利用手数料	配達手数料		
50円	130円	180円		

P30コープしが事業所を参照。コープしがHPでもご覧ください。
<http://www.pak2.com/guide/center.html>

満1歳までの赤ちゃんをお持ちのお母さんに嬉しいサポート商品を無料で偶数週お届け!

新サービス「赤ちゃんサポート」誕生!! ~コープしがは子育て中のお母さんを応援します!~



「赤ちゃんサポート」とは、満1歳までの赤ちゃんをお持ちのお母さんにうれしいサポート商品を、無料で偶数週お届けするシステムです。従来からある「めくもり割引(満3歳までのお

さんがいるご家庭は配達手数料割引)」そして、コープしが新規加入割引(個配の配達手数料6週間無料)をプラスして、パパとママの毎日をもっと楽しく便利に!

コープしがHPでもご覧ください。 <http://www.pak2.com/akachan/>

毎日の暮らしを支える「店舗事業」 安心して暮らすための「共済事業」

店舗事業



コープぜぜ店

店舗事業は、生鮮品・惣菜から日用雑貨まで品揃えしたスーパーマーケットタイプのコープぜぜ(大津市)とコープ商品や産直商品を中心に品揃えした小型のミニコープが野洲・草津・大津市に4店舗あります。くらしの必需品を月間でお買い得価格に設定した「くらし応援」や曜日奉仕などを開催するほか、JAおうみ富士の野菜など、県内産農産物の普及にも取り組んでいます。

●コープぜぜ 第1土・日曜日 ポイント5倍 ●ミニコープ 第1、3土曜日 5%オフセール

ポイントカード

ちょっとしたうれしいお買い物プレゼントとして「ポイントサービス」を実施しています。店舗ポイントカードは、お買い上げ金額200円ごとに1ポイント、200ポイントたまればポイント券1枚をお渡しします。ポイント券3枚で1,000円分のお買い物券としてご利用いただけるほか、グリーンスタンプのカタログ商品とも交換していただけます。



資源リサイクル

店舗ではペットボトル、ペットボトルキャップ、トレー、牛乳パックを回収して循環型社会を目指す取り組みをすすめています。また、マイバックの持参を呼びかけ、「買い物袋」を有料化し、全店舗で95%と非常に高い持参率となっています。

共済事業 もっとやさしいCO・OP共済へ

- ①加入がやさしい ②家計にやさしい
- ③手続きがやさしい ④未来もやさしい

CO・OP共済は「組合員どうしの助け合い」を形にした商品です。加入者みんなの掛金で万が一の病気や、事故が発生した加入者のお役立ちとなります。CO・OP共済は組合員の声をもとに商品の開発・改善を行っています。2011年9月に「ずっとあい」(終身共済)が誕生し、今年9月から「たすけあい」共済の女性コースが制度改善します。

共済保有件数 (件)

	たすけあい	あいぶらす	ずっとあい	合計
2010年度	73,863	11,743	—	85,606
2011年度	75,660	13,316	—	88,976
2012年度	76,168	14,695	2,004	92,867

たすけあい共済支払状況 あいぶらす支払状況 ずっとあい共済支払状況

年度	件数	支払金額	年度	件数	支払金額	年度	件数	支払金額
2010年度	14,997	559,389	2010年度	821	69,596	2010年度	—	—
2011年度	15,166	571,578	2011年度	956	145,308	2011年度	—	—
2012年度	15,315	567,519	2012年度	961	129,712	2012年度	111	6,290

たすけあいの心を「折鶴」に込めて

CO・OP共済は誰かが困った時に、組合員同士が助け合おうという暖かな心から生まれました。そしてこんな気持ちを「折り鶴」に託してお届けできたら」と思い、小さいお子さんから幅広い年代の組合員さんが折ってくれた折り鶴をお届けしています。助けられたり、助けたり、そんな暖かい心の通い合わせいつまでも、いつまでも大切にしたいですね!



コープぜぜ共済カウンター



「コープぜぜ共済カウンターでは、組合員さんの保障に関するご相談を受けたまっています。コープ共済に関するご相談等、お気軽にお立ち寄りください。」

こんな声を、頂いています

疲れきっていた私には心温まる贈り物でした

12月7歳の息子が初めて入院しました。容態が悪化したり、大変な入院生活(涙)、心も身体も疲れきっていたので共済金の手続きが簡単で助かりました。電話でも丁寧に説明いただき、書類の封筒には折り鶴が入っていました。疲れきっていた私には心温まる贈り物でした。本当にありがとうございました。

どうされたんですか?の一言からありがたさを知りました

配送担当者の方の「どうされたんですか?」の一言から、この制度の有難さを知ることができました。やけどという痛い思いはしましたが、身近に起きる事故やケガに対し、気遣いの言葉と保障の大切さをつくづく感じました。

友人の進めで加入、「ちゃんと共済おるよ」と教えられた

共済には友人の勧めで加入しました。たいした事のないケガもいざ通院すると6日もかかりました。加入はしていてもそれでも「共済の請求」には、頭がまわってなかった私に友人が「ちゃんと共済おるよ」と教えてくれました。手続きも簡単で助かりました。

家計に響かない掛金なので安心!

通院1日は出ないだろうと思っていたのですが、尋ねてみたら出ます、という事だったのでびっくりしてすぐに手続きをしました。家計に響かない金額なのに安心して大丈夫!頼もしい限りです。

「誰かが誰かを支え、助ける」なんて素晴らしい

「誰かが誰かを支え、助ける」なんて素晴らしいことでしょう。私も誰かを支える輪に参加できるなんて考えたこともありませんでした。幸せの鶴、ありがとうございました。私も心を込めて折らせていただきました。



くらしを楽しく豊かにする「サービス事業」

夕食サポート事業

夕食サポート事業は、組合員相互のくらしのたすけあい運動として、高齢、一人暮らし、共働き、育児等で忙しい方、夜間勤務その他の理由で、毎日の夕食作りに困っている組合員からの要望を受けて、予約された夕食の弁当やおかずをサポートが毎日配達して支援しています。

夕食サポートの特徴

1. 管理栄養士が監修した、5日間の栄養バランスを考えたからだに優しい日替わりの献立です。
2. 旬の野菜や魚、肉を丁寧に調理し、彩り楽しく手作りの味にもこだわりました。
3. コープしがの食品添加物の自主基準に沿った原材料と衛生管理の行き届いた施設で毎日調理し冷蔵管理でお届けします。
4. 毎日(月～金)18時までに夕食サポーターが笑顔で手渡しします。お留守の場合は保冷箱に入れてお届けします。
5. ご登録されますと毎日のお届けの際、安否確認も行います。

「コープしが夕食サポート」についてのお問い合わせは

0120-709-502

受付時間 月～金/8:30～20:00 土/8:30～11:00



旬彩御膳 (8種類のおかずコース)

しっかりした味付けで、メイン料理を充実させたおかずコースです。おかず1食当りの平均カロリー約500kcal、塩分約4g。



6種おかず (6種類のおかずコース)

和・洋・中の豊富な献立で、毎日違った6種類のおかずをお届けします。おかず1食当りの平均カロリー約450kcal、塩分約3g。



お弁当 コース

栄養バランスやカロリーを考えた豊富なバリエーションのお弁当コースです。おかず1食当りの平均カロリー約500～550kcal、塩分約3g。



冷凍おかず セット

土・日・祝日用です。木曜日または金曜日にお弁当・おかずと一週お楽しみにお届けします。おかず1食当りの平均カロリー約350kcal、塩分約3g。

コープしがの概要と経営概況

コープしは、1993年発足時組合員数74,900人でしたが、2012年度には150,807人、組織率27%となり、県内全域に広がる組織へと発展しました。

今後さらに、コープしは滋賀の生協として、事業を通じて組合員だけでなく県民のくらしに貢献し、消費者の生活の向上をめざし活動をすすめていきます。

コープしがの概要

- 名称 生活協同組合コープしが
- 理事長 西山 実
- 本部 滋賀県野洲市富波甲972番地
- 2012年度概況

- ・ 組合員数 150,807人
- ・ 出資金 9,630,634千円
- ・ 供給高 26,439,757千円
 - ・ 共同購入 24,787,145千円(個配合含む)
 - ・ 店舗 1,488,119千円
- ・ 職員数 正規職員285人、準職員17人
嘱託13人、定時332人、アルバイト147人
(2013年3月20日現在)

<http://www.pak2.com/about/index.html>

※コープしがの事業所と子会社はP.29をご覧ください。

行政区組織率

(2013年3月現在)

市町名	組合員数	世帯数	組織率(%)
大津市	45,371	139,798	32.5
彦根市	11,974	46,528	25.7
長浜市	12,585	44,660	28.2
近江八幡市	7,274	30,527	23.8
草津市	10,984	61,361	17.9
守山市	7,596	28,488	26.7
栗東市	5,779	24,103	24.0
甲賀市	8,645	32,767	26.4
野洲市	5,591	18,358	30.5
湖南市	4,710	21,590	21.8
高島市	6,776	19,649	34.5
東近江市	11,105	40,789	27.2
米原市	4,249	13,405	31.7
日野町	2,188	8,144	26.9
竜王町	1,217	4,340	28.0
愛荘町	2,167	7,148	30.3
豊郷町	642	3,045	21.1
甲良町	604	2,314	26.1
多賀町	952	2,483	38.3
合計	150,409	549,497	27.4

※県外在住組合員を除く



第1回通常総代会 (1993年5月)

主な取扱事業種目等

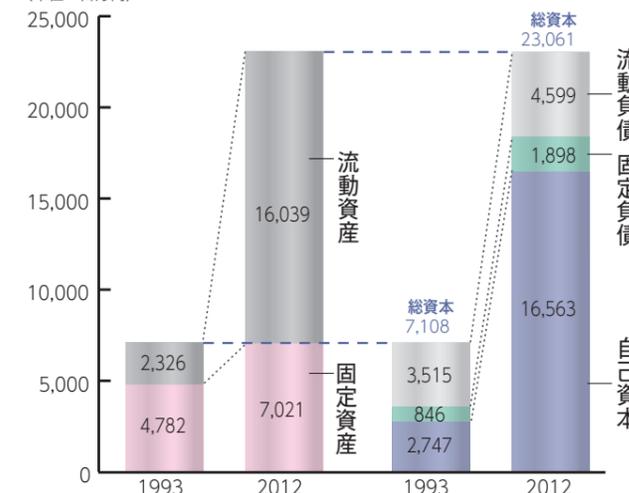
事業種目	主な事業品目等
供給事業	食料品、米穀、酒、衣料品、日用雑貨、家庭用品、文房具、書籍、化粧品、各種チケット等
利用事業	ささえあいサポート利用 福祉ネットワークセンター施設利用
共済事業	たすけあい共済(受託)、火災共済(受託)、生命共済(受託)

※2013年6月の総代会で定款改正し、介護保険事業を追加します。

経営状況

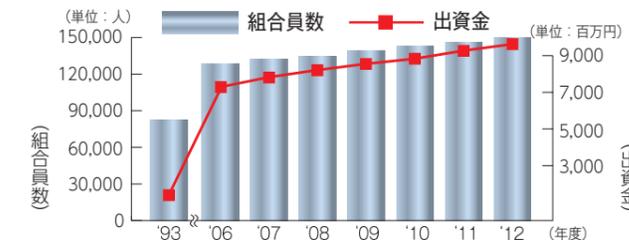
1993年度(コープしが発足時)と2012年度の比較

(単位:百万円)

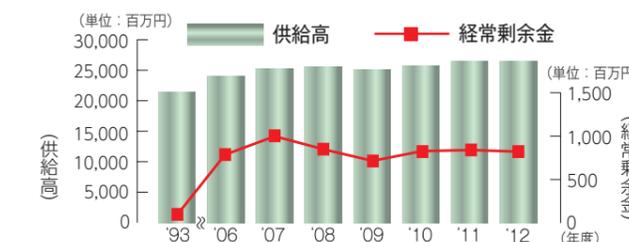


年度	経常剰余率 (%)	総資本回転率 (回/年)	流動比率 (%)	固定比率 (%)	自己資本比率 (%)
1993	0.7	3.0	66.2	174.1	38.6
2012	3.1	1.1	348.7	42.3	71.8

組合員数と出資金



供給高と経常剰余金



※供給高及び経常剰余金は最終確定前の決算数値です。

サービス事業

くらしを便利に、快適にするサービスを取り扱っています

くらしのサービス



● チケット

ご家族で楽しんでいただける遊園地、県内外の様々なコンサート、美術展のチケット、一般でも完売になる人気チケットも企画します。

● コープ車検

県内10社の車検指定整備工場と事業提携をし2009年11月からスタートしました。マイカーを良好な状態で長く乗り続けることにより、二酸化炭素排出の軽減に寄与するとともに、車輛製造から廃棄までのサイクルを少しでも延長できることを期待して事業提携しました。

● 自動車教習所

7箇所(滋賀6、京都1)の自動車教習所がお得な生協価格で入所できます。

● ピアノ調律・修理

アップライトでもグランドピアノでも、国内メーカーはもちろん、海外メーカーのピアノも調律・修理できます。

● 不要品買取

本、CD、服、ブランド商品など不要になったものを宅配(送料無料)で買い取ります。

住まいのサービス



●ハウジング

新築、リフォーム、外壁・屋根塗装、太陽光発電などのことでしたら何でもご相談ください。それぞれの専門家が知識と経験をもとに対応させていただきます。

●ふとん打ち直し・丸洗い

布団の丸洗い・打ち直しどちらもふとんの大事なお手入れです。丸洗いは生地をつけたまま洗い、打ち直しは中素材を追加してふとん側生地は新品に交換します。

●ハウスクリーニング

キッチン廻り(レンジフード、流し台)洗面台、浴室、トイレなどの洗浄、宅内排水管の洗浄、溜めマスの清掃も行っています。

●レンタルモップ

5種類のモップからお選びいただけます。毎月2回の週に生協の配達便でお届け・回収しますので便利です。

●浄水器

レンタル浄水器(据え置きタイプ)で、ご家族の健康と暮らしに安心でおいしい水をお届けします。

「コープしが住まいのサービス」についてのお問い合わせは <http://www.pak2.com/service/>



コープしがの事業所・事務所及び子会社の紹介

本部・事務所・その他施設

本部・野洲事務所 野洲市富波甲 972 TEL 077-586-1112 (代表)
 生協会館 大津市竜が丘 1-1 TEL 077-511-2961
 青果産直センター 栗東市荒張 1419-1 TEL 077-559-2010
 福祉ネットワークセンターゆめふうせん 大津市真野 5-33-25 TEL 077-571-1560
 草津事務所 草津市西草津 2丁目 1-1 TEL 077-565-9394

無店舗事業センター

南草津センター 草津市笠山 5丁目 3-50 TEL 077-565-0770
 北大津センター 大津市真野 5-33-25 TEL 077-571-1550
 草津センター 草津市上寺町可掬 281-1 TEL 077-568-1671
 中央大津センター 大津市国分 2-226-22 TEL 077-531-0970
 甲南センター 甲賀市甲南町市原 303-6 TEL 0748-86-6977
 近江八幡センター 近江八幡市馬淵町落合 437-1 TEL 0748-37-4110
 愛知川センター 愛知郡愛荘町愛知川 1050 TEL 0749-42-4445
 長浜センター 長浜市西上坂町 1020-1 TEL 0749-63-0851
 彦根センター 彦根市竹ヶ鼻町四反地 224-1 TEL 0749-30-3371
 高島センター 高島市新旭町新庄 799 TEL 0740-25-5888

店舗

コープぜせ 大津市竜が丘 1-1 TEL 077-522-5111
 ミニコブローズタウン 大津市朝日 1丁目 15-1 TEL 077-594-3721
 ミニコブ西大津 大津市柳川 2丁目 11-25 TEL 077-523-5090
 ミニコブ草津 草津市西草津 2丁目 1-1 TEL 077-565-9394
 ミニコブ野洲 野洲市富波甲 963-1 TEL 077-587-6578

子会社

株式会社タクス 野洲市富波甲 977 TEL 077-588-5715
 株式会社コープシステムサービス 栗東市荒張 1420-1 TEL 077-559-2239
 株式会社シガフードプロダクツ 甲賀市甲南町寺庄 330 TEL 0748-86-0641
 株式会社滋賀有機ネットワーク 栗東市荒張 1420-1 TEL 077-558-2211



コープしがの子会社

コープしがの子会社は、組合員の多様な暮らし全般のニーズに応え、法規制等により生協で事業が制限されている分野、また農産物生産者との協同会社や牛豚・青果物の加工会社など専門的に事業化している分野を担っています。

また「コープしが子会社グループ経営指針」をもとに「グループ会社管理規程」を策定し管理運営を行っており、各代表取締役はコープしが常勤理事が兼務し、出資額または保有株式額の範囲で経営責任を持ち、グループ全体の経営会議を開催し、グループ・コーポレートガバナンスに責任をもって運営しています。



(株)シガフードプロダクツ

(株)タクス 設立15周年記念 ▶ ゆめふうせんへ「車椅子贈呈式」

	(株)タクス	(株)コープシステムサービス	(株)シガフードプロダクツ	(株)滋賀有機ネットワーク
設立年月	1995年9月	1995年11月	1993年4月	1994年12月
代表取締役	木村昌博	小杉元彦	白石一夫	濱田和夫
資本金総額 (コープしが出資額)	15,000千円 10,000千円	30,000千円 20,000千円	95,000千円 48,000千円	10,000千円 4,000千円
コープしが持株比率	66.7%	66.7%	50.5%	40.0%
2012年度売上高	77,863千円	483,054千円	1,177,005千円	631,480千円
〃 経常利益	5,548千円	△2,934千円	7,080千円	6,466千円
事業内容	損害保険・生命保険代理店、旅行業、宅地建物取引業	倉庫・保管庫の管理業、物流センター管理運営業、物流資材等の販売業	牛肉・豚肉の食肉パック加工事業、パック加工済商品販売業、畜産加工品の販売業	穀類・野菜類及び果樹類の生産・加工・販売業、農作業及び農業経営の受託事業、等
	組合員の暮らし全般をサポートするために、生協では扱えない事業分野での事業展開を図る。	物流に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行及びコープしがの物流費用のコントロールする	精肉の生産、流通及び加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正な価格で安定供給する。	県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と農産物の流通拠点を確立する。

※各社の売上高及び経常利益は、最終確定前の決算数値です

コープしがのあゆみと環境活動年譜

大津生協のあゆみ10年史 (発行1983年)	大津生協「商品のしおり」	湖南消費生活協同組合設立 (4月) 大津生活協同組合設立 (7月)	1972	
			1973	●びわご汚染防止対策を自治体へ要請
		山東消費生活協同組合設立 (後の滋賀県北部生活協同組合)	1976	●空きビンのリサイクル運動
			1977	●琵琶湖に初めて大規模な赤潮が発生 ●廃食用油 (家庭用) 回収運動を県内で展開
		滋賀県東部生活協同組合設立	1979	●家庭の合成洗剤を粉石けんに交換引取運動
			1980	●滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例の制定施行
		滋賀県生活協同組合連合会設立 (6月)	1981	
			1983	大津生協瀬田店で買い物袋持参運動スタート (レジ袋有料化5円)
			1987	●抱きしめてBIWAKO開催 (25万人参加)
			1988	●よみがえれ琵琶湖 署名運動 (34万筆)
			1991	●滋賀県環境生活協同組合設立 (現: 碧いびわ湖)
		生活協同組合コープしがが発足 (4生協合併) (株)シガフードプロダクツ設立 (食肉加工)	1993	コープしが環境元年を発表 シルヴィコープ彦根店にソーラー発電システムを設置 買い物袋持参運動 (レジ袋有料化5円) を全店舗で展開
		たすけあい共済事業スタート (有)滋賀有機ネットワーク設立 (青果)	1994	LPG 配送車輛の導入
		県内農産物の発展協力に関する協同組合間提携協定締結 (株)タクス設立 (保険・サービス事業) (株)コープシステムサービス設立 (物流管理)	1995	環境憲章を制定 コープしが独自の環境マネジメント・スタート
		青果産直センター開設	1996	
		個配事業の県内全域展開をスタート	1999	ISO14001 認証を取得
		ホームページ「ばくばくファミリー」を開設 滋賀県の農産物発展協力に関する協定締結 ステーション購入スタート	2000	環境マネジメントセンター開設 (現リサイクルセンター)
		インターネット注文スタート 共同購入個人別集品スタート 産直牛のトレーサビリティ開始 (店舗)	2002	ISO14001 認証を更新
		福祉情報電話開設 コープしがが発足10周年記念式典 「生活協同組合連合会コープきんき事業連合」 設立・加盟	2003	
		ゼロエミッションを定義 全店舗、共同購入センターで事業系生ゴミのリサイクルをスタート	2004	
		ささえあいサポート事業スタート コンプライアンス宣言	2005	ISO14001 認証を更新
		福祉ネットワークセンター・ゆめふうせん開設 コープきんきとの共同企画スタート	2006	発電設備内蔵型ガスヒートポンプを導入 (北大津センター)
		共同購入・個配のポイント制スタート	2007	廃食用油をバイオディーゼル燃料 (BDF) に再資源化 環境事業積立システム (2007年度以降毎年度実施)
		個人配達手数料「ぬくもり割引制度」スタート 組合員コールセンタースタート コープしがが発足15周年記念事業 サービス事業スタート	2008	ISO14001 認証を更新 環境マネジメント方針の改定
		高齢者対応個配サービススタート コープきんき「組合員の声」「商品苦情システム」スタート 滋賀県飼料米利活用推進における協定締結	2009	
		全国環境保全型農業コンクールで特別賞受賞	2010	「コープしがびわ湖の日 (9月第1土曜)」をスタート BDF5% 燃料を2事業所28台に導入
		夕食サポート事業「つながり」スタート	2011	環境政策の見直し・BDF100%燃料スタート 太陽光発電システム (4箇所設置)
		物流効率化スタート 米原市と「絆で築く安心なまちづくり協定」●	2012	「コープの森」づくり協定 太陽光発電システム (2箇所設置) 環境リサイクル事業のスタート
		「未来ファンドおうみ」基金へ寄付 (予定) 草津市と「安心が得られるまちづくり協定」●	2013	●「滋賀におけるレジ袋削減の取組み」協定調印 「マザーレイク滋賀応援」寄付

●は、行政・他団体と一緒に取り組んだ活動




生活協同組合コープしが
<http://www.pak2.com>



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を用い、その製造及び廃棄におけるCO₂排出量はCOJを通じカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO₂排出量は上記の通りです。また、大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。

